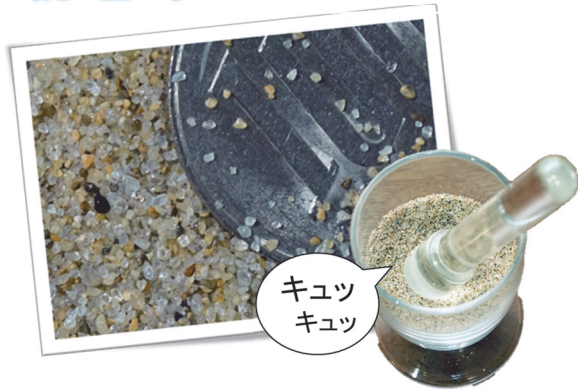


鳴き砂について



1) 鳴き砂は、砂に外側から急激な力を加えると、
キュッキュッと音を発生する砂のことです。

2) 鳴き砂の音(キュッキュッ)を周波数分析すると、約200~1200Hz
(ヘルツ、1秒間の振動数)の音が発生しています。

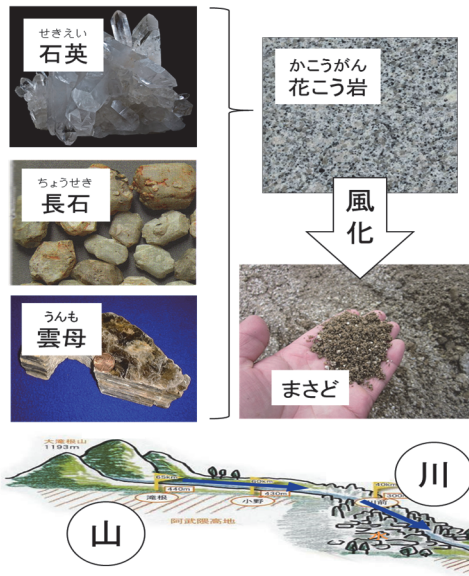
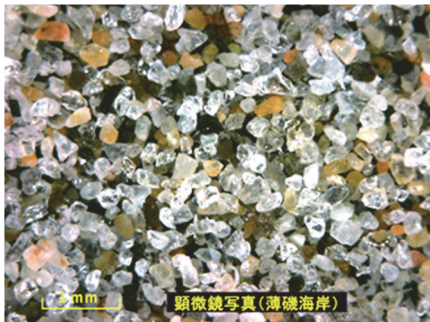
3) 音は、砂の性質(粒の大きさなど)、鳴らし方、容器の大きさや
測定の方法で大きく変わります。

【全国鳴き砂マップ】

日本全国には、現在20ヶ所の「鳴き砂」の浜があります。50年前には60所位あったと言われています。

砂浜の汚れが進んできたのが原因で
しょうか。鳴き砂の浜を減らさない保存活動が必要です。

顕微鏡写真(薄磯海岸の鳴き砂)



鳴き砂ができるまで

鳴き砂

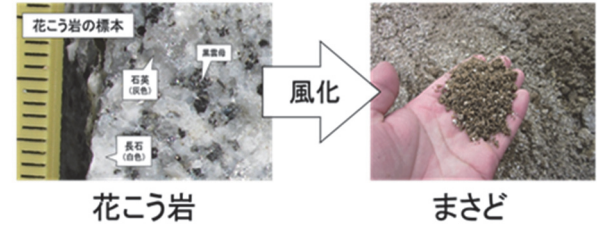
石英を
65%以上
含んだ砂

山にあった花こう岩が風化し、石英を含む土砂が川に入る。硬い石英がのこり、海に入る。波で揉まれ丸くなった石英が砂浜に打ち上げられ、鳴き砂の浜になる。



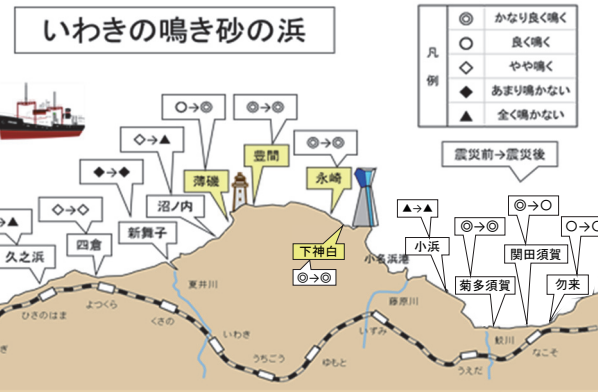
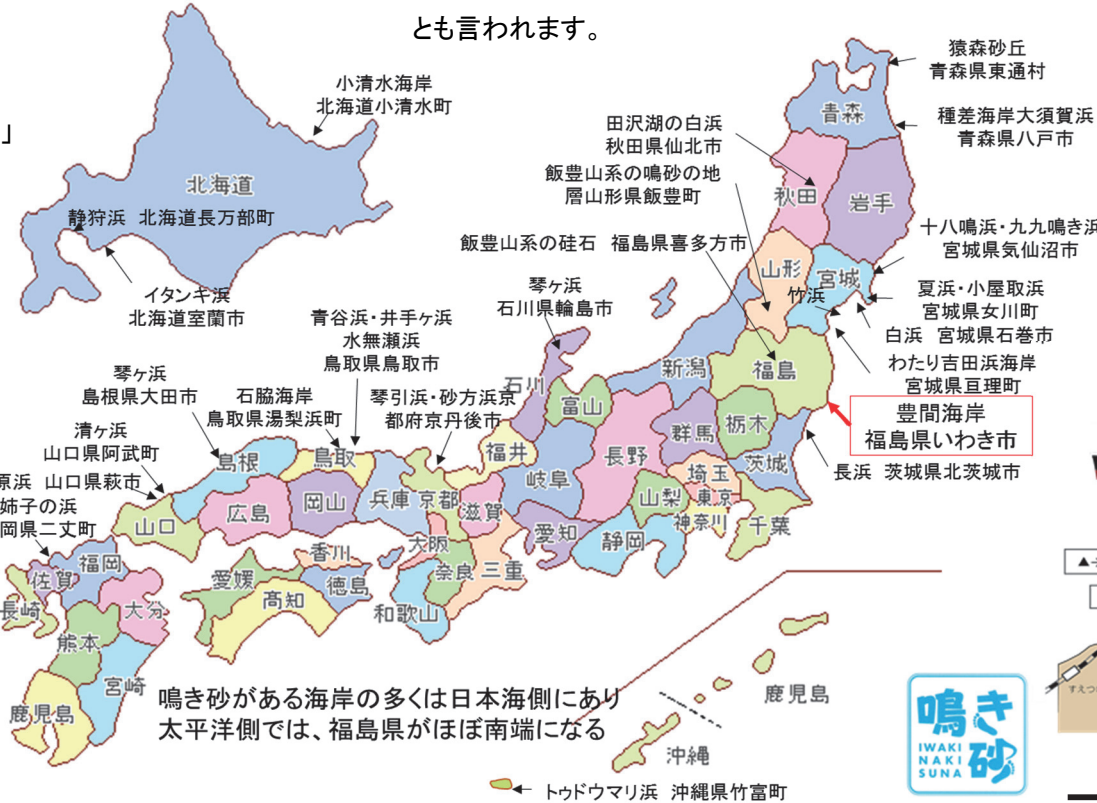
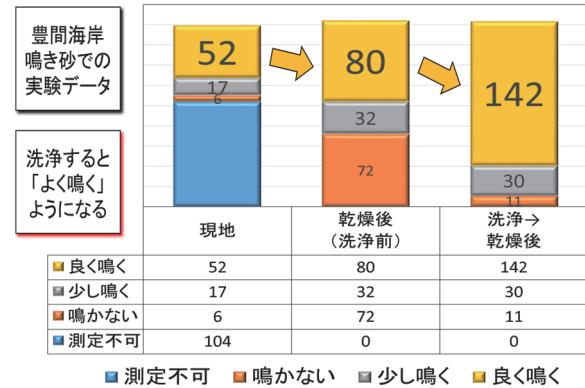
花こう岩の風化

- ◇花こう岩の主成分は石英(せきえい、約31%)、長石(ちょうせき、約52%)、雲母(うんも、約12%)である
- ◇石英は熱膨張率が大きく、長石の約2倍もある熱膨張差のため、長期間の温度変化により、花こう岩にき裂が発生し、岩が砕けて砂になる(風化という)
- ◇花こう岩→真砂土(まさど、粗い砂)→細かい砂になる



鳴き砂は海岸がゴミなどで汚れると、鳴かなくなります。
鳴き砂は環境のバロメーターとも言われます。

鳴き砂は、海岸がゴミなどで汚れると鳴かなくなります。
そのため、鳴き砂は環境のバロメーターとも言われます。



~巨大津波に耐え、蘇るいわきの鳴き砂~

